

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(1)政策	コード	名称
	3	(3)必要なときに支えがある安心なまちづくり

(2)基本施策	コード	名称
	6	③高齢者の健やかな生活を支える

(3)生活課題	6	ひとり暮らしの老人が孤独感なく、体調などを確認してもらいながら生活できる。
---------	---	---------------------------------------

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(5)評価責任者職名	健康福祉部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	山崎 猛夫
------------	-------

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果								
					H19 決算額	H20 予算 額・補 正要求 額	H21 要求 見込額	人	人件費	(14)指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
											(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		

2次評価										(33)その他の改革 改善点について
(25) 1次評 価修 正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて			

継続	252	老人クラブ活動助成	130200	健康福祉部 高齢障害課	17,422	16,184	15,743	0.1	720	老人クラブ加 入者数	18,459	18,600	人	I	4	3	4	3	A	縮小
継続	253	老人日常生活用具給付事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	15	93	93	0.1	720	利用者数	2	5	実人員	I	4	4	1	4	B	現状維持
継続	254	高齢者住宅改造助成事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	1,169	1,066	1,066	0.2	1,440	対象者適用比 率	100	100	%	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	255-01	移送サービス事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	32,742	26,500	26,800	0.3	2,160	利用件数	22,278	22,000	件	I	4	4	4	3	A	現状維持
継続	255-02	生きがい活動通所支援事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	1,922	1,950	2,100	0.1	720	利用者数	94	110	人	I	4	4	3	4	A	現状維持
継続	255-03	緊急通報装置設置事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	4,569	3,646	3,717	0.1	720	設置者数	89	110	件	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	255-04	家族介護ヘルパー受講支援	130200	健康福祉部 高齢障害課	30	90	90	0.1	720	利用者数	1	4	人	I	3	3	1	4	D	縮小
継続	255-05	訪問理美容サービス事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	46	50	55	0.1	720	利用件数	46	55	件	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	255-06	寝具洗濯乾燥事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	113	130	150	0.1	720	利用実人員	13	17	人	I	4	3	4	4	A	現状維持
継続	255-07	軽度生活援助事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	88	100	100	0.1	720	利用実人員	6	10	人	I	4	3	4	3	A	現状維持

無			無		1	c	国庫補助金額が漸減している状況にあり、コストを縮減して成果を上げる工夫が必要である。
無			無		4	d	過去の実績から利用者は限られており、コストを縮減しても成果は維持できる。
無			無		1	b	
無			無		1	c	委託事業の見直しが必要
無			無		2	b	
無			無		2	b	地域全体で支えあう仕組みづくりが必要
無			無		4	d	利用者は少ないが、事業の趣旨にかんがみ当面は継続し、利用者の推移を見ながら廃止も検討する。
無			無		2	f	
無			無		3	d	
無			無		3	d	

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(1)政策	コード	名称
	3	(3)必要なときに支えがある安心なまちづくり

(5)評価責任者職名	健康福祉部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	山崎 猛夫
------------	-------

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	6	ひとり暮らしの老人が孤独感なく、体調などを確認してもらいながら生活できる。
	6	③高齢者の健やかな生活を支える			

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標) 指標の数値	1次評価結果									
					H19 決算額	H20 予算額・補 正要求額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性			
												(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)	(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度
継続	255-08	家族介護者交流事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	354	1,000	1,000	0.1	720	利用者数	42	80	人	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	255-09	介護用品(紙おむつ等)支給事業	130200	健康福祉部 高齢障害課	38,985	27,792	28,000	0.9	6,480	受給者数	728	780	人	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	312	在宅要介護者歯科保健推進事業	130900	健康福祉部 健康推進課	356	333	333	0.1	720	再受診者	1	1	人	I	4	3	3	3	A	現状維持

2次評価										(33)その他の改革 改善点について
(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて			
無			無		3	d	家族介護者は、心身と もに負担が大きく、コ ストを維持しながら成 果の向上を図る。	家族介護者の意向を 踏まえ、事業内容を再 検討する必要がある。		
無			無		1	a	介護用品として必要で あり、利用者の一部を 負担することは意義あ る事業である。			
無			無		4	d				